

’88新春特別企画

魅力ある富山を こうして創ろう！

あけましておめでとうございます。澄みきつた冬空にそびえる立山連峰を仰ぎ見る時、ふるさと富山の素晴らしさを実感させられますね。

この企画は、これまで特集された記事の中から再度、認識を新たにしたいご意見を抜粋いたしました。



街に個性と 魅力を

豊 氏
(富山県知事)



中沖 豊氏
(富山県知事)



西澤潤一氏
(東北大学教授)



竹村健一氏
(評論家)

現代は混迷と激動の時代ととらえることができると思います。今、地方はどういくべきか、必死にその行き方を模索しているのが現状ではないかと思います。

東京と地方との格差をどうするか、そして地方の相互関係は?これら問題を考えるとき、その主役となるのは住民そのものであると思います。郷土を興こすのも産業を興こすのも結局は人づくりが最後の重要な事項であると言えます。

今後も県政は、人づくりを柱にしながら郷土づくり、産業づくりを試策したいと思います。

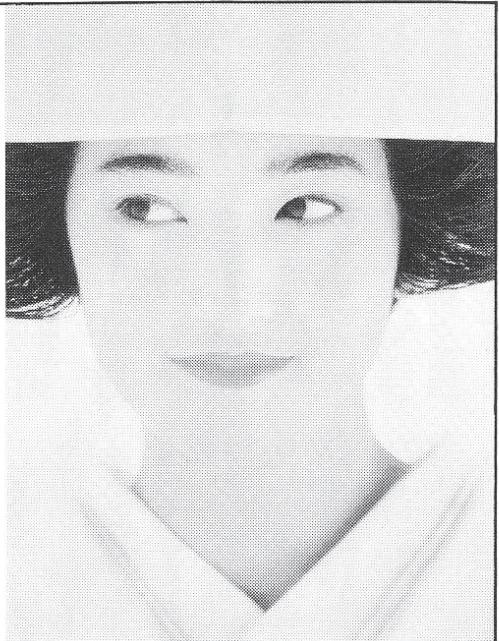
世界的視野に立つて地方の人々の個性を發揮していくといふ事がどうしても必要な時代に入つていくと思います。

これからは“地方独立の時代”でなくではありません。東京を介して地方が存在していた時代はもう過ぎ去っているのです。日本の産業というものが既に海外に移転をはじめています。

世界中の情報を持つてきて、地方で世界に通用するものを作つていくことも、昔に比べて極めて容易になつてきています。必ずしも、全部が全部新しいものに切り換えるのではなく、勿論、古いものの中から、新たに世界に通用するものも見落してはならないと思います。とにかく、世界

に通用するものも見落してはならないと思います。とにかく、世界のよさを東京の全国ネットを使えば、広く知らせることがなり、人も集まるだろうし、富山の人も地元にプライドが持てる様になるでしょう。高速道路もあるし意外に集まりやすい地方性を考えるべきでしょうね。

あなたは、わたしの幸せの素。



ボルファートとやま
(0764)31-1113(代)

’88春の総合結婚展
ブライダルショー&
ファッショショニ

1月30日(土)AM10:00~PM8:00
(ナイター展示)

31日(日)AM10:00~PM6:00



朝 日 印 刷 紙 器 (株)



浩氏
源(源)
副社長

富山の市民性、県民性は、ビジネスにはいいんでしょうが、文化的・精神的な豊かさが表われてこないんですね。街を見ると四角いビルだけで、間がない。面白味がないというかね。”小東京”じゃつまらない。何か富山のにおいがブーンとするようなものがいい。観光と言つても、これみよがしのものをつくるだけではダメ。気持ちのよい応待だとか親切ということ、つまり、私達自身のハートが観光資源であるべきです。もつと、観光に対する認識を高めていくことが必要でしようね。

城址公園を魅力ある憩いの場に

富山の市民性、県民性は、ビジネスにはいいんでしょうが、文化的・精神的な豊かさが表われてこないんですね。街を見ると四角いビルだけで、間がない。面白味がないというかね。”小東京”じゃつまらない。何か富山のにおいがブーンとするようなものがいい。観光と言つても、これみよがしのものをつくるだけではダメ。気持ちのよい応待だとか親切ということ、つまり、私達自身のハートが観光資源であるべきです。もつと、観光に対する認識を高めていくことが必要でしようね。



緒方 裕氏
(富山地方鉄道社長)

分散して色んな施設を作るよりも、この一帯に集中させて城址公園を核とした景観を作つていく方がいいと思います。富山は水も豊富で名水百選にいくつも入っているわけですから、コンパクトに仕掛け作つてみるとか。日が落ちたあと、夕涼みに人が集まるような場所にしたいですね。



吉田 栄一氏
(月世界本舗社長)

富山城址公園内には図書館、産業奨励館、富山市郷土美術館などがありますが、とかく暗いイメージでした。例えばロンドンのハイドパークなどのようにゆっくり1時間ほどおしゃべりをしたり、ご婦人が編物をしたりできる公園になればいいですね。これからは、もつと「行ってみたくなるような公園づくり」を考えていかなければならぬと思います。



河口 清隆氏
(懐石松や社長)

城址公園を

魅力ある

憩いの場に

城址公園は富山駅周辺と市の中心街を結ぶ、いい位置にあります。城址公園が充実してくると、富山駅と中心商店街が非常に「近く」なるんですね。公園の中を歩くことになりますから。

10年前、フランスへ行つた時、11月の寒い時でしたが朝早く通勤者がチューリップ公園の落

富山県	知事	中沖 正一	豊
高岡市	市長	堀 健治	
新湊市	市長	渡辺 一雄	
市長 清河 七良	市長 滑川市	市長 魚津市	
市長 澤田 寿朗	市長 黒部市	市長 氷見市	
市長 荻野 幸和	市長 研波市	市長 茶谷 一男	
市長 岡部 昇栄	市長 小矢部市	市長 清河 七良	
市長 大家 啓一	市長 大澤野町	市長 清河 七良	
町長 中斎 忠雄	町長 大山町	町長 中斎 忠雄	
町長 池田 博	町長 上市町	町長 池田 博	
町長 清水 美晴	町長 立山町	町長 清水 美晴	
町長 富樫 清二		町長 富樫 清二	

ち葉が敷きつめられた道を歩いてくるのを見たんです。第三の男の一一番最後のシーンを見て、いるような感動がありましたね。もつと樹木を多くして木陰を作り、泉水からは小川が流れ、せせらぎの音が聞こえる。そんな霧囲気の中で、ベンチに腰かけ編物やおしゃべりができるような公園になればと思います。



森田 明氏
(ミントラヤ社長)

今の観光地は兼六園にしても他の天下の名園にしても先祖が関係しているのですね。その点富山の殿様は貧乏だったのです。けれども富山を愛すれば今からでも遅くないと思うのです。山や水に恵まれているわけですから、この豊かで平和な時代が続く限り日本庭園的なものを造ればいいと思いますね。工場を持つてくるのも産業ですが、觀光も産業として考え、若い人達にアピールする工夫が必要です。



長谷川総一郎氏
(富山大学助教授)

ては“深い緑とゆたかな水”があります。水と緑は人間の心のふるさとと言えるくらいに、都市機能の重要な位置を占めているわけです。極端に言えば“水と緑がないと、都市としては生きていけない”とさえ言えると思います。

城址公園は、今はあまりにも広場的感覺で、広く明るすぎると思うのです。もつとボケット位で活動できるような公園が必要なわけです。人間は身を隠すどこかに身を寄せれるような場所でホツとするわけですから、もつと起伏のある森をつくる必要がありますね。

“松川遊覧船での水の都”的イメージを

富山はここ近年、花が多くなってきましたね。その中でも松川沿いというのは他の市内に比べ桜が大きく育つて、一種独特的の霧囲気を出しています。しかも水面と通路面の差が割合広く土手面がよく見える。これがプラスになるマイナスになるか

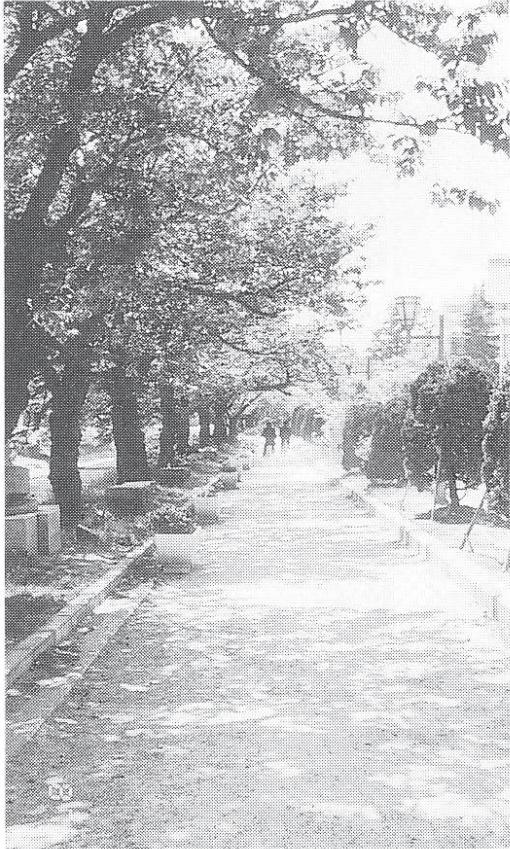
宇奈月町	町長 野崎 吉郎
入善町	町長 柚木 春雄
朝日町	町長 魚津 龍一
八尾町	町長 梶本 忠光
婦中町	町長 大沢 輝男
小杉町	町長 三上 和夫
大門町	町長 大島町
城端町	町長 庄川町
大島町	町長 川田 哲三
大門町	町長 小川 秀雄
庄川町	町長 村井 武一
井波町	町長 川原 喜正
福野町	町長 溝口 進
福光町	町長 定村 栄吉
福岡町	町長 石澤 義文

か大きく左右されるものですか
しでその旅が楽しかったかどうか
には、住民がいいなと思えるも



森谷 義一氏
(富山県観光物産課係長)

は利用の仕方いかんだと思いま
す。周りの建物や景観などから
一番ふさわしいものをうまく利
用すれば、また独特なものにな
るのでは、と思います。富山は、
水のきれいさ、花と緑のきれ
さなどから言えばどこにも負け
ないのですからね。あとは活用
の仕方だと思います。



高田 瑞夫氏
(大和富山店取締役店長)

ら、せっかく来てもらつたのに
イメージダウンで帰してしまう
ことのないよう、ガイドを初
め、受け入れ体制も重要な思
います。

遊覧船を通年運行するわけで
すから、何かプラスアルファとな
るイベントを組みこんで観光客
の滞留を促す横のつながりを図
ることです。例えば、旅行エー
ジェントや旅館組合等とのタイ
アップで観光ルートに組みこん
でもらったり、割引制度を導入
したり。また、ガイドの良し悪
しでその旅が楽しかったかどうか
には、住民がいいなと思えるも

越路銘菓
とこびつ



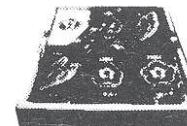
本舗 大野糸
高岡・富山・金沢



-北陸の味-

富山駅・北陸線車内販売
株式会社 源

本社・工場/富山市南央町37-6 ☎(0764)29-3322代
富山駅売店・マリエどやま店・エストア・富山イン
ターナー店・富山空港売店・小松空港売店



贈りものに 梅かまの
かまぼこ

ウメカマ印
製造元/富山蒲鉾株式会社
発売元/株式会社 梅かま
富山市問屋町1丁目(問屋センター内)
☎(0764)51-3101

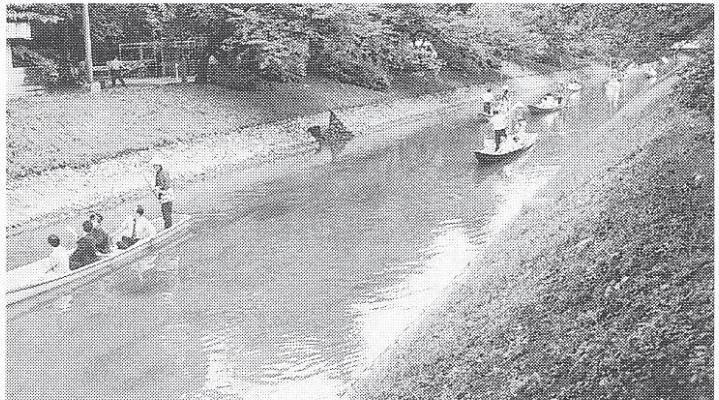
富山を代表する—
月世界



月世界本舗

富山市上本町8-6 ☎0764-22398

のこと、ですね。



べきです。山口県のすわのなんか側溝に鯉がいるだけで人が集まります。まず松川自身に美的感覚が欲しいですね。舟だけではなく観光客が寄つてみようとするものをプラスしなくては。

ビジネスライクでなく、皆で協力してやることですね。富山の政財界がこそって、やろうという姿勢が大切だと思います。

いけば素晴らしいものになるでしょう。何よりも、舟に乗つてもらうことが先決。様々な仕掛けを通じて、ぜひ松川へというPRをしていくべきでしょう。



北堀 健氏
(富山市緑地課長)



小保 浩氏
(富山市觀光課長)



堀田 晃令氏
(日本交通公社
富山支店
長)

川ひとつをとっても、河川課や緑地課など、役所関係でも様々に関わりがありますから遊覧船をということで、行政がそれぞれでやっていたことを更に連携して進めていくことはいいことですし、大切なことだと思います。そして、民間も加わって

案外富山市的人は、松川を見すごしているのではないでしょう。見方を変えると意外性がありますよ。ビルの谷間を舟下りする、しつとりした景観がある。人工のものと自然の対比の面白さもひとつの意外性に通じます。また、松川にかかる橋もひとつの中のポイントではないでしょうか。橋を額縁として向こう側に展開される景観は一幅の絵となるでしょう。

完



富山市中央通り1-4-13

T E L 0764(91)5876

10:00~19:30 休水曜日

